



【発行】地域おこし協力隊 陣内 綾

ガマの刈り取り、稲藁の提供にご協力いただいた皆さま ありがとうございました！

かごづくりの材料となるガマは、沼地や休耕田、用水路に自生します。お盆を過ぎると道端に突然現れる、フランクフルトにそっくりな穂を皆さん一度は見たことあるのではないのでしょうか。

「ガマがかごになるん？」とよく聞かれるのですが、材料となるのは、穂が生えていないガマの茎です。

互いちがいに重なった茎を一枚ずつ剥がして、1ヶ月ほど日陰で乾燥させてから使用します。ガマの茎は扁平で少し厚みがあり、丈夫でつるつとした手触りのかごをつくることのできるんです。

このガマの刈り取りを、8月下旬から9月上旬に実施することができました。自生地の情報提供、そして刈り取りを快く許可して下さった皆さま、ありがとうございました！



そしてガマの刈り取りと並行し、今度は藁細工の材料となるもち藁の稲刈りが始まりしました。こちらも、人づてに人づてに、もち米を作っている方へ繋いでいただきました。

今年は台風や大雨に振り回され、突然のお願いやお伺いにご迷惑をおかけしたと思いますが、おかげさまで目標数を上回る藁を確保することができました。

仲介していただいた方々、藁を提供していただいた方々、ありがとうございました！

これらの材料は、制作の材料として大切に使用させていただきます。

豊栄を盛り上げる新たなツールとして、伝統を守りつつ、現代の生活でも馴染む手仕事製品の制作・開発をして参りますので、温かく見守っていただくと幸いです。



普段のお買い物にぴったりな
マチたっぶりの藁カゴを
つくってみました

最近のひとりごと

食欲の秋！

豊栄のりんごやぶどう、柿に舌鼓を打った途端に、冷え込みが厳しくなりました、、、早くもお鍋の季節になりそうですね。衣替えに灯油ストーブの用意などなど、冬支度を早急に終わらせました。冬本番の冷え込みに怯える日々です、、、